

# 施策評価シート

記載年月	令和3年9月
対象年度	令和2年度

## 1 施策の名称・めざす姿

施策名	055	青少年の健全育成				
総合計画	基本目標		人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）		主担当部課名	子ども家庭部 児童青少年課
	基本施策	08	青少年の健全育成			
めざす姿	家庭・学校・地域社会が連携して、青少年の健全育成活動や地域の環境浄化活動を行い、多様な体験活動や多くの活動拠点が提供されることで、様々な状況にある青少年が健全に育成される望ましい社会環境が整備されています。また、それにより、青少年が心身ともに健やかに育っています。					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	488,111,000	520,581,000	570,704,000	783,429,000	1,113,530,000	
国庫支出金	32,262,000	37,792,000	39,250,000	57,836,000	96,067,000	
都支出金	108,529,000	117,780,000	123,275,000	145,276,000	224,122,000	
市債	0	0	0	0	0	
その他	133,111,000	160,773,000	168,160,000	291,692,000	345,476,000	
一般財源	214,209,000	204,236,000	240,019,000	288,625,000	447,865,000	
予算現額	489,156,000	520,581,000	571,826,000	738,610,000	0	
決算額	483,316,130	492,950,056	555,564,326	703,660,590	0	
国庫支出金	34,041,000	37,627,000	45,949,000	74,957,000	0	
都支出金	109,610,000	116,503,141	115,611,000	138,850,000	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	139,409,250	142,726,050	145,926,036	232,650,305	0	
一般財源	200,255,880	196,093,865	248,078,290	257,203,285	0	
執行率	98.8	94.7	97.2	95.3	0.0	
<b>(人件費)</b>						
職員数	20.88	23.88	27.78	33.94	0.00	
職員人件費	160,398,218	187,509,820	223,127,710	262,645,912	0	
月額制会計年度任用職員数	48.00	45.00	41.00	38.00	0.00	
月額制会計年度任用職員人件費	149,779,200	140,166,045	126,727,843	120,634,724	0	
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	835,454	885,494	850,964	5,090,660	0	
総コスト	794,329,002	821,511,415	906,270,843	1,092,031,886	0	

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
青少年健全育成関連事業への参加者数	447,613	実績	446,769	413,599	143,366	-	466,495
	人	達成率	95.8	88.7	30.7	0.0	
青少年対策地区委員会事業への参加者数	11,091	実績	10,576	9,537	5,105	-	11,500
	人	達成率	92.0	82.9	44.4	0.0	
健全育成協力店の店舗数	153	実績	147	148	142	-	160
	店	達成率	91.9	92.5	88.8	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

### 指標の分析

青少年健全育成関連事業及び青少年対策地区委員会事業の参加者数については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業を中止したことにより大幅に減少した。  
健全育成協力店の店舗数については、新型コロナウイルス感染症の影響により積極的な加入促進ができない中、前年度より若干減少した。

## 4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	
達成できている点	青少年対策地区委員会や青少年委員、学校、警察等と連携し、交流事業や体験事業、環境浄化活動等を実施し、青少年の健全育成を図ることができた。また、若者自立支援については、子ども・若者総合相談において関係機関の紹介や助言等を行うことができた。	青少年対策地区委員会、青少年委員会、学校、警察等と連携し、地域における青少年の健全育成活動等を実施した。また、SNSに起因する問題に関する啓発活動を実施した。若者自立支援については、子ども・若者総合相談において必要な助言等を行うことができた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部事業を中止したが、青少年対策地区委員会、青少年委員等と連携し、参加者等の安全を考慮したうえで、青少年健全育成を図ることができた。また、青年総合相談を実施し、必要な助言等を行うことができた。	
達成できていない点	SNSの利用に関するトラブルの増加や利用者の低年齢化など青少年を取り巻く社会環境の変化に対し、柔軟に対応する必要がある。また、子ども・若者総合相談については、新規利用者が少なかったため周知方法を検討する必要がある。	インターネットの利用に係るトラブルや犯罪被害の予防方法等について周知を図る必要がある。	インターネットの利用に係るトラブルや犯罪被害の予防方法等について周知を図る必要がある。	

## 5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>青少年対策地区委員会をはじめ地域や学校関係機関との連携を図りながら、環境浄化活動、街頭広報活動、ふれあい事業を実施するとともに、青少年交流の場として小学生バレーボールのつどいや青少年の健全育成を訴える標語コンクールなどを実施した。</p> <p>また、毎月第4土曜日を「家庭の日」と定め、啓発活動やイベントを実施したほか、青少年委員の協力のもとジュニアリーダー講習会など体験活動事業を実施するとともに、子ども会、ボーイ・ガールスカウトの活動を支援した。</p> <p>若者の自立等支援については、青少年自身や子育てに関する悩みの相談窓口である「青少年・子ども相談」のほか、ひきこもり等の若者を持つ家族に対し、セミナーや個別相談からなる「家族ゼミ」等を実施し、平成28年8月よりひきこもりに関する相談を常設化した「子ども・若者総合相談」を開設した。令和2年度からは、ひきこもりの長期化に対応するため、当該相談を他課に移管し、その他の悩みについての相談を受け付ける「青年総合相談」を開設した。</p> <p>子どもたちの放課後対策として「放課後子ども教室」や「学童クラブ」を全22小学校区で実施するとともに、登下館時の安全確保のため、見守りボランティアや子ども緊急避難の家を募集した。また、一部学童クラブの民間委託のための事業者選定および延長育成のシステム構築を行った。</p> <p>青少年音楽団体については、文化活動の発表に係る使用料の一部を援助した。</p> <p>児童館においては、指導員が日々来館する児童と共に遊びながら見守りを行った。また、各種サークル活動を支援した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>社会環境の変化に柔軟に対応できるようインターネットを利用した青少年健全育成活動を検討する必要がある。</p> <p>SNSの利用に関するトラブルが増加していることから、スマートフォンやSNSの適切な利用について啓発する必要がある。</p> <p>悩みを抱える青少年等が相談窓口を利用しやすい環境を整備する必要がある。</p> <p>学童クラブについては、今後の保護者ニーズによる事業量を放課後子ども教室と連携した運営及び内容の充実を通じて確保する必要がある。</p> <p>自主活動奨励事業においては定員に達していないサークルをPRするとともに、今後はニーズに合わせたサークルを増やし、不公平が生じないように配慮する。</p>
今後の展開
<p>青少年対策地区委員会や学校などの関係機関と連携し、インターネット等も活用して青少年の非行防止及び犯罪被害防止に努めるとともに、様々な体験活動事業を引き続き実施する。</p> <p>青少年が早期に悩み等を相談しやすくなるよう環境整備を行い、周知を図る。</p> <p>学童クラブと放課後子ども教室が連携を深め、共通プログラムの実施など、国の放課後子ども総合プランに基づく一体型の運営を推進する。</p> <p>また、学童クラブについては、民間委託を行った学童クラブの安定的な運営及び延長育成の活用の促進を図る。</p> <p>青少年団体の文化活動の発表に係る使用料の援助については、引き続き市として援助していく。</p> <p>児童館サークルについては、引き続き、活動内容を精査し、より多くの子どもたちが参加できるよう配慮する。</p> <p>なお、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「新しい生活様式」を考慮しながら、各事業の企画、運営をしていく必要がある。</p>

## 6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
青少年健全育成事業	青少年健全育成協力店や子ども緊急避難の家の制度を周知し、協力者を募る。青少年対策地区委員会や学校、PTA等と連携し、各地域での環境浄化、非行防止、育成事業、啓発事業を実施するほか、青少年健全育成交流事業や標語コンクール、家庭の日事業等を実施する。	青少年健全育成協力店や子ども緊急避難の家の制度を周知し、協力者を募る。青少年対策地区委員会や学校、PTA等と連携し、各地域での環境浄化、非行防止、育成事業、啓発事業を実施するほか、青少年健全育成交流事業や標語コンクール、家庭の日事業等を実施する。	青少年健全育成協力店や子ども緊急避難の家の制度を周知し、協力者を募る。青少年対策地区委員会や学校、PTA等と連携し、各地域での環境浄化、非行防止、育成事業、啓発事業を実施するほか、青少年健全育成交流事業や標語コンクール、家庭の日事業等を実施する。	青少年健全育成協力店や子ども緊急避難の家の制度を周知し、協力者を募る。青少年対策地区委員会や学校、PTA等と連携し、各地域での環境浄化、非行防止、育成事業、啓発事業を実施するほか、青少年健全育成交流事業や標語コンクール、家庭の日事業等を実施する。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
	所管部署	子ども家庭部 児童青少年課	子ども家庭部 児童青少年課	子ども家庭部 児童青少年課
	事業種別	青少年対策地区委員会との連携により、健全育成協力店の加入促進やSNSトラブルに関する啓発活動、各地域での育成事業等を計画どおり実施し、青少年の非行防止及び犯罪被害防止に努めたほか、様々な交流の場を提供することができた。	青少年対策地区委員会との連携により、健全育成協力店の加入促進やSNSトラブルに関する啓発活動、各地域での育成事業等を計画どおり実施し、青少年の非行防止及び犯罪被害防止に努めた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止したが、青少年対策地区委員会との連携によりパトロール等の環境浄化活動、SNS等の利用に関する啓発活動を中心とした事業を実施した。
	4か年事業費計(単位:千円)	11,052		
青少年総合相談運営事業	子ども・若者総合相談を実施するとともに、ひきこもりやニート等の状態にある子ども・若者の自立等支援体制の充実を図る。また、関係機関との連携を強化するための環境調整に努める。	子ども・若者総合相談を実施するとともに、ひきこもりやニート等の状態にある子ども・若者の自立等支援体制の充実を図る。また、関係機関との連携を強化するための環境調整に努める。	様々な悩みを持つ青少年が、円滑な社会生活を営むことができるようにするための相談事業として、青年総合相談を実施する。	様々な悩みを持つ青少年が、円滑な社会生活を営むことができるようにするための相談事業として、青年総合相談を実施する。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
	所管部署	子ども家庭部 児童青少年課	子ども家庭部 児童青少年課	子ども家庭部 児童青少年課
	事業種別	子ども・若者総合相談を実施し、適切な関係機関の紹介や助言等を行うことができた。また、わが子の自立に悩む家族に向けたセミナーを実施した。	子ども・若者総合相談を実施し、適切な関係機関の紹介や助言等を行うことができた。また、わが子の自立に悩む家族に向けたセミナーを実施した。	青年総合相談を実施し、適切な関係機関の紹介や助言等を行うことができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたオンラインセミナーを実施した。
	4か年事業費計(単位:千円)	12,152		
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

## 7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 2年度		R 3年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1	ちびっ子文化祭運営事業	30	1,803,000	474,998	2,351,000	文化センターで活動している小・中学生が年1回市内のホールで日頃の成果を発表する。	B	1
2	自主活動奨励事業	30	11,781,000	7,665,416	13,580,000	児童館において年間をとおして実施するサークル活動を支援する他、児童館に指導員を配置する。	B	1
3	成人の日記念青年のつどい運営事業	30	2,802,000	5,423,863	3,484,000	成人式の開催	B	1
4	青少年団体活動支援事業	30	242,000	50,000	208,000	子ども会やボーイ・ガールスカウトの活動支援	C	1
5	青少年委員活動事業	30	5,228,000	2,849,087	5,172,000	青少年委員の活動事業	B	1
6	青少年団体育成奨励事業	30	696,000	178	696,000	青少年団体育成の奨励	B	1
7	青少年体験活動運営事業	30	1,189,000	210,857	1,121,000	野外活動や体験活動の実施	B	1
8	放課後子ども教室事業	30	168,103,000	134,566,044	169,015,000	放課後子ども教室事業の実施	B	1
9	青少年問題協議会運営事業	30	509,000	218,361	488,000	青少年の指導・育成・保護・矯正に関する総合的な施策の調査・審議・実施	B	1
10	青少年健全育成事業	30	7,790,000	2,616,359	7,444,000	青少年健全育成の環境づくり	B	1
11	学童クラブ管理運営事業	10	580,466,000	546,990,077	907,302,000	保護者が労働などの事情で昼間家庭にいない児童の健全育成を図る。	B	1
12	青少年総合相談運営事業	30	2,820,000	2,595,350	2,669,000	子ども・若者育成支援に関する相談	B	1
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			783,429,000	703,660,590	1,113,530,000			